

1. 科目名 (単位数)	日本語学習とマルチメディア (2 単位)	3. 科目番号	EJJP2361
2. 授業担当教員	鈴木 茂樹		
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	演習課題に取り組むためにインターネットに接続できるPCを用意できること		
7. 講義概要	古くから視聴覚教材は語学学習に有効な教材として使われてきた。近年のコンピュータ環境の進歩により、マルチメディア、インターネットを利用した高度な学習システムやサービスの一般利用が可能となった。このような教材を扱う技術や知識を得ることは語学学習者・教育者にとって重要である。本講義では、マルチメディア教材の有効性について学習し、IT を用いた日本語学習教材について演習によって操作方法などを修得する。また、日本語教育に必要なマルチメディア教材について分析・検討する。		
8. 学習目標	日本語学習にマルチメディアがどのように関係するかを知り、その効果的な利用方法について学ぶ。講義、演習を通して、IT を用いた日本語学習コンテンツに関する基礎的な知識や操作方法を修得する。日本語教育の実践に向けた教材の作成技術を習得する。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	毎回授業時間外の作業が必要な課題を課す。 ・日本語学習、教育におけるマルチメディア教材に関するレポート課題 (2回程度) ・マルチメディア教材作成に関する演習課題		
10. 教科書・参考書・教材	必要な教材については資料を配布する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. マルチメディア技術を用いた日本語学習コンテンツに関する知識を得る。 2. IT を用いた日本語学習コンテンツに関する操作方法を修得する。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、課題等を総合して評価する] 1. 授業への積極的参加、受講態度 30% 2. 授業ごとに課されるレポートや課題 70%		
12. 受講生へのメッセージ	コンピュータを使う演習や課題がたくさんある。操作方法が分からない場合は早めに関きに来て課題に取り組む時間を有効に使うようにしてほしい。		
13. オフィスアワー	授業内にて周知する。在室中は、来客のない限りいつでも対応する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	講義概要の説明、教育用 SNS への登録教育の変化	事前学習	学校教育の歴史について調べる。
		事後学習	新しいテクノロジーを使った教育について講義内容を踏まえてまとめる。
第2回	学校教育におけるマルチメディア教材の歴史と現状	事前学習	「視聴覚教材」とは何か調査しておく。
		事後学習	マルチメディア教材の歴史と現状についてまとめる。
第3回	日本語教授法の変遷 コンピュータを利用するマルチメディア教材・学習コンテンツ CBT・WBT	事前学習	コンピュータを利用する学習コンテンツについて調べておく。
		事後学習	IT を利用した日本語学習コンテンツについてまとめる。
第4回	MOOC と e-ラーニングサービスの利用	事前学習	MOOC について調べる。
		事後学習	利用したサービスの特徴についてまとめる。
第5回	エドテックと教育用 SNS	事前学習	エドテックについて調べる。
		事後学習	教育用 SNS の有効性についてまとめる。
第6回	教育向けアプリ スマートフォン、タブレットの活用	事前学習	語学学習アプリについて調べておく。
		事後学習	スマートフォン・タブレット活用の有効性についてまとめる。
第7回	IT 活用に関する注意事項、情報倫理	事前学習	文章や画像の著作権について調べる。
		事後学習	著作権、コンピュータシステム利用時のセキュリティについてまとめる。
第8回	確認テスト (マルチメディア教材の歴史と学校教育への IT 活用について)	事前学習	これまでに学習した内容の復習をする。
		事後学習	日本語学習におけるマルチメディア教材の現状についてレポートを作成する。

第9回	動画教材の特徴、動画の作成	事前学習	動画作成に必要な機材を調査する。
		事後学習	動画を作成し、有効性を検証する。
第10回	学習教材の企画① 企画枠組みの作成	事前学習	日本語教師の支援に何が必要か考える。
		事後学習	自身が考える学習教材について必要な事柄をまとめる。
第11回	学習教材の企画② 企画の実現を考慮したコンテンツ調整	事前学習	著作権やシステムセキュリティについて復習しておく。
		事後学習	企画した教材に著作権、セキュリティ上の問題がないか検討する。
第12回	学習教材の企画③ 発表用資料の準備	事前学習	企画した学習教材の有効な点についてまとめておく。
		事後学習	発表用の資料を完成させる。
第13回	作成した教材企画の発表	事前学習	発表の練習をしておく。
		事後学習	他の発表に対する意見をまとめる。
第14回	発表の振り返り 各自の意見の整理	事前学習	他の発表に対する意見と改善点をまとめる。
		事後学習	講義内で出た意見をまとめて自分の教材企画に反映させる。
第15回	確認テスト (e-ラーニングサービスと日本語学習用マルチメディア教材について) 講義のまとめ	事前学習	これまでに学習した内容の復習をする。
		事後学習	日本語教育におけるマルチメディア教材の現状についてまとめる。